

社会福祉法人さくら園

第20号

令和4年8月1日発行

〒943-0823 上越市高土町3丁目4番2号 電話/025-530-7160 FAX/025-530-7161



ホームページ

ともに
みらいへ



北さくら工房は2009年から焼き菓子
製造販売をはじめました。
みんなで作上げた、自慢のスイーツです。
ぜひご賞味ください。





ともにみらいへ

理事長 田中正人

「地域から信頼され評価される法人とはどんな法人をいうのか。」理事長に就任してからずっと考えてきました。

さくら園は、5つの通所施設と8つのグループホームを運営しています。障がい者の就労支援のための、障がい者就業・生活支援センターと各種相談に応じるための相談センターも設置しています。

今年度、4月から5月にかけて、さくら園の全施設を訪れて、直接職員と意見交換をしました。前向きな様々な提案を聞き、職員が熱心に職務に取り組んでいることに感謝しつつ、一方で、業務繁多でいろいろ苦労があることを知り、改善すべきだと強く意識しました。

制度的に対処が難しい事柄、改善には時間がかかる事柄、そして直ちに直せる事柄に整理して、それぞれ本部と施設長に取組みを指示したところであり、今年度中に目途を付けたいと考えています。

障がい福祉に携わる私たちの役割は、障がいのある人が、生活面や経済面で自立し、地域で普通に暮らすことを一緒に進めることだと思います。障がいの内容が異なったり、障がいに軽重があつたりしますが、利用者個々に相応しい支援が必要です。また、さくら園の職員には、自身を含めて、障がい者への差別や虐待を、社会から排除する義務が課せられていると思います。施設職員は、当事者であり、第三者ではないからです。

「障がい者にとって分かり易く利用し易い施設、職員にとっては働き易い施設にするにはどうしたらよいか。」それは、風通しのよい活力ある施設を整え、利用者一人ひとりにあつた支援を提供することではないか。そしてさくら園が安定継続していくことにつながるのではないか。

このことを信じて、利用者・保護者と施設・職員が共通の認識と価値観を持ち、満足度の高い施設運営を進めていきます。皆様のご理解とご協力を心からお願いたします。



さくら園の今と

これからに願いをこめて

さくら園保護者会ネットワーク会長 塩崎 千恵子

昭和61年にさくら工房が開所して以来の古株になりました。職員も通所者も保護者と一緒にさくら園の発展を望んでいました。

つばき工房、北さくら工房、南さくら工房、居多さくら工房と順次作業所が出来ました。

平成15年に、保護者会ネットワークを立ち上げ、保護者として、まず何をするにしても資金が必要であると、抛出金を集めました。子どもたちの将来を考えてのことでした。最初にさくらホーム五智が出来た時、さくら園に50万円支援しました。その後もグループホームの整備に支援を続け、今は8つのグループホームが出来、また、ショートステイも利用できるようにになりました。先輩達が願った状態になっているように思います。今は抛出金を集めることはありませんが、自分の子ども事だけでなく、多くの子どもたちの将来を考え、行動を起こした先輩たちがいたことを、心の片隅に置いておいて欲しいと強く願っています。決して押し付けるつもりはありませんが。親なら誰しも自分の子どもの将来を心配していると思います。

さくら園のグループホームは、当たり前前に其処にあるのではなく、多くの人たちの努力と願いが実って、現在の状況に繋がっていることを心に留めておいていただきたいと思っています。

これからも保護者会ネットワークは、互いにつながりを深め、助け合い、総会、研修、講演会を実施していきたいと思っています。

今はただただ、コロナが収まり、以前のような活動ができることをひたすら祈るばかりです。

虐待防止の取組み

さくら園虐待防止委員会委員長 小林 俊一

令和2年度に「虐待防止・人権侵害の根絶に向け、全職員が真に取り組むことを確認」したにも関わらず、令和3年度、暴言等虐待の疑いがある事案が複数発生し、また利用者に対するセクシュアルハラスメントが発覚しました。職員の人権意識の低さと、虐待及びセクハラ防止について理解が不足していたことの現れでした。

このため、虐待防止委員会は、自ら猛省しつつ、再発防止対策を協議検討しました。それまで、毎月、各施設で「虐待防止チェックリスト」を職員に記入させ、利用者支援を振り返ることを行っていました。虐待が疑われる事案が発生した施設の職員向けに、虐待とはどういう行為なのかを具体的に示し、注意を喚起し、業務上の悩みなどを聞き取り、適切な支援について助言することにしました。また、集合研修は一過性であるため、実務重視の意味で、12月から、毎月の「虐待防止チェックリスト」に加えて毎日「虐待等防止行動チェック」を行い、管理者が決裁することにしました。そして、さくら園保護者会役員から、「現場職員から聞き取りを十分に行い、再発防止に向けて意見を集約し、具体的な改善を行って欲しい」との要請を受けましたので、虐待防止対策に取り組みました。その結果、各施設の職

員(常勤・非常勤)から虐待防止の意見を多数提案してもらい、所属の虐待防止マネージャーが取りまとめ、虐待防止委員会に報告。委員会ですれらを、①利用者支援、②チェック機能、③職場づくり、④研修の4点に分類し、それぞれ具体的に示すことにし、保護者会の同意をいただいたところです。

社会福祉法人として地域の信頼を取り戻すため、障がい福祉に従事する者として利用者から信用してもらえように、各施設ごとに日々の業務を振り返り、適切な利用者支援を強く意識して努力を続けて行きます。

人権擁護・虐待防止の取組み

- 1 虐待防止に関する責任者を選定しています。
- 2 虐待防止委員会を設置し、虐待の未然防止や虐待事案発生時の検証、再発防止策の検討などを行っています。
- 3 職員に虐待防止を啓発・普及するための研修をしています。
- 4 苦情解決体制を整備しています。
- 5 成年後見制度の利用を支援します。

就職者に聞く!

就職者紹介

令和4年5月、さくら工房利用者 丸山大介さんが株式会社白星社に就職。

白星社はクリーニング事業を展開している会社です。丸山さんは枕カバー広げや、洗濯物を種類ごとに分ける仕事をしています。



枕カバーを伸ばす機械に入れる様子



さくら工房
石山 奈緒子
就労支援員

1つの作業に黙々と取り組む力があつたので、慣れてくれば作業スピードも上がり、会社の力になると確信していました。

会社には、指示を出す際は、実際に作業の手本を見せてほしいことなどを伝えました。困った時は会社の人に報告をするよう助言しました。

丸山さんは、作業指示をきちんと理解して取り組み、作業スピードが速いです。ただ、仕事に没頭してオーバーワークになりがちなので、様子を見ながら力の抜きどころを教えていきたいです。

今後はもっと仕事の幅を広げていきたいなと思っていますので、一緒にがんばりましょう。



白星社
宮澤専務取締役

働き始めて

◆就職が決まった時の気持ちは?

うれしかったです。

◆実習期間、大変だった事は?

初めてやる仕事がたくさんあったので、覚えるのが大変でした。

◆仕事で大変なことは?

工場内が暑いので大変です。

◆お給料をもらった感想は?

嬉しいです。お菓子や好きなものを買います。

◆これからの意気込みは?

白星社でお仕事がんばりたいです。

丸山大介さんとお母さん



◆息子の就職について

私は本人が工房でお仕事していた方が安心でしたから、就職するなんて思っていませんでした。実習が終わり、就職のお話を頂いた時、不安が大きかったのですが、白星社の方や工房の職員から実習中の様子や、就職してもフォローアップに入って下さると聞いて、安心できました。

◆就職してみて

工房の職員が定期的に訪問して下さり、様子を知らせてくれるので安心です。本人も就職前と後で、変わりなく落ち着いて過ごしています。

本人が一生涯懸命働いてもらったお給料で、ショートステイを利用した時にかかる費用を支払っています。将来、グループホームも視野に入れて、親がいなくなった後でも自立して生活していけるように準備しています。

就職は自立に向けての一歩だと思います。これからも皆さまにご支援とご協力をいただきながら、頑張りたいと思います。

就職に向けての活動



身だしなみをテーマに
就労プログラム



企業見学



障がい者合同就職面接会



高齢者施設の清掃



福祉交流プラザの清掃



スーパーで品出し



クリーニング前の点検

就労
プログラム
作業

施設外就労

職場実習

さくら園のジョブコーチ

職場定着のお手伝いをします



本人支援

- ストレス・疲労の管理と安定した勤務のための支援
- 職場内での円滑なコミュニケーションの支援
- 職場のルール理解への支援
- 適切な業務遂行への支援



事業主支援



家族支援

安定した
関係構築

ジョブコーチ

ジョブコーチがいなくても、働く本人と職場の人が安心して仕事できるようにすることが目的です。

私たちにまかせて!!



坂井ジョブコーチ



飯島ジョブコーチ

障がい者就業・生活支援センターさくら

職場訪問や来所相談で職場定着を促進します。職場実習や、ピアサポート活動、職場定着支援セミナーも実施しています。

「働く」を支える

仲間と暮らしながら
定年までお仕事
頑張ります



共有スペースを分担して清掃中

休日は
買いものに



おいしい食事で
一日の疲れが
吹っ飛びます



就労定着支援事業

職場定着をサポート!

「就労後のサポート」を目的とし、3年を上限に提供される福祉サービスです。就労定着支援員が月1回以上職場を訪問し、就労後に生じた悩みやトラブルに関して、本人や職場の上司と面談を行い、課題を解決できるようサポートします。



定期的に
相談できて
安心です

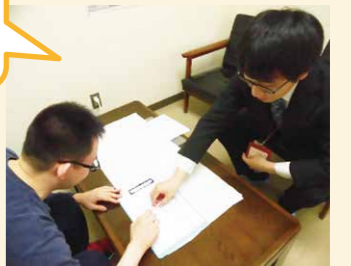


掃除の仕方を再確認

相談センターさくら

相談支援専門員と
相談します

働き続けながらも、家の掃除や調理のこと、休みの過ごし方などの困りごとや悩みを抱えることがあります。そのような時に、適切な障がい福祉サービスを提案し、各機関と連携してサポートします。



グループホーム

ホームで暮らしながら 企業で働く仲間がいます

グループホームの食事は朝夕世話人の手作りです。夜間は宿直員、休日は日直員がいるので安心して暮らすことができます。また、生活支援員が困り事の相談や通院同行をします。皆さんが元気に安心して仕事に向かえるように色々な人が関わっています。



行ってきます

ごはんできてるよ



おかえりなさい。
帰宅すると仲間が待っています。

いろいろな作業をしています

居多さくら工房



一針ずつ、心を込めて仕上げています。
ご注文、お待ちしております！



手縫い雑巾



初の
じゃがいも
収穫



たくさん
採れました
“ピース”

南さくら工房

基板取り出し
パソコンや小型電化製品を
解体・分別して、金やレア
メタルを資源として再利用
します。



空き缶リサイクル



エコハガキ作り



さくら工房



丹精込めて苗植え付
夏には立派なサルビアになります。



北さくら工房



パネ梱包



段ボールの仕切り組立

細かな工程を丁寧に仕上げます。

お客様に安心して提供できるように努めています。
感謝の気持ちを伝えます。

つばき工房



ありがとうブランド包装



衣類クリーニング



ウィルス対策おしぼり包装

自立を 目指して

買物訓練



自分が使う作業道具を選びます



サイズ合わせも大切です

口腔ケア



歯みがきのコツ練習中

生活訓練



食べた後のゴミ分別も忘れません

清掃訓練



外側から内側に向かって掃きます



きれいに手を洗います

楽しい 余暇支援



渾身の一筆!



こいのぼり できたよ~



紙ねん土細工



どれを釣ろうか 迷うなあ...



母の日に感謝を込めて



リズムに合わせて 太鼓を叩きます♪



新聞プール 楽しいよ

就職おめでとう!! (敬称略)

(令和3年7月~令和4年6月)

さくら工房

- ・坂詰 龍也 (タワーパートナーズセミ
コンダクター株式会社)
- ・丸山 大介 (株式会社白星社)

つばき工房

- ・男性 (株式会社かまた美食船かまた丸)
- ・女性 (株式会社テラスカイ)

苦情解決の状況

令和3年度は2件の苦情が寄せられました。

内容は「送迎車両の運転に関すること」、「コロナ感染防止に関すること」が1件ずつでした。皆様からのご意見をもとに安心して利用していただける施設になるよう努めます。

寄付・助成

法人本部

- ・匿名 (二万円)

つばき工房

- ・つばき工房保護者会

北さくら工房

- (カラオケセット一式)

- ・直江津更生保護女性会
(使い捨てマスク8箱)

居多さくら工房

- ・公益財団法人JKA
(介護用入浴機器 一式)

令和4年6月、公益財団法人JKAの競輪補助事業により、ミストシャワー設備一式を導入しました。この機器は、常に新しいお湯を使用し、衛生的です。また、ミストシャワーで体を温めることで、リラクゼーション効果があります。利用者から、「気持ちが良い」「体が温まる」と感想を聞いています。

新しい浴槽で、安全で安心かつ快適な入浴支援を行います。



さくら園の財政状況 (令和3年度決算)

● 貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	327,520,638	流動負債	30,861,371
現金預金	201,827,755	事業未払金	21,171,341
事業未収金	89,138,496	1年以内返済予定リース債務	6,861,126
未収補助金	31,753,360	預り金	57,790
貯蔵品	105,880	職員預り金	2,771,114
商品・製品	1,160,090		
仕掛品	322,240		
原材料	821,478		
前払金	651,790		
前払費用	1,739,549		
固定資産	779,546,344	固定負債	18,699,958
基本財産	557,432,097	リース債務	7,014,958
土地	144,797,017	退職給付引当金	11,685,000
建物	412,635,080	負債の部合計	49,561,329
その他の固定資産	222,114,247		
		純資産の部	
建物	4,452,683	基本金	145,982,064
構築物	21,798,505	第1号基本金	129,183,242
機械及び装置	6,871,699	第3号基本金	16,798,822
車輛運搬具	18,432,225	国庫補助金等特別積立金	271,453,252
器具及び備品	8,923,853	その他の積立金	134,611,000
有形リース資産	9,915,462	施設整備等積立金	76,611,000
権利	213,224	人件費積立金	58,000,000
ソフトウェア	1,012,500	次期繰越活動増減差額	505,459,337
無形リース資産	3,848,066	(うち当期活動増減差額)	6,901,462
退職給付引当資産	11,685,000		
施設整備等積立資産	76,611,000		
人件費積立資産	58,000,000		
長期前払費用	349,030		
その他の固定資産	1,000		
資産の部合計	1,107,066,982	純資産の部合計	1,057,505,653
		負債及び純資産の部合計	1,107,066,982

● 資金収支計算書

(単位：円)

	勘定科目	当年度決算
事業活動による収支	収入	
	就労支援事業収入	40,100,117
	障害福祉サービス等事業収入	598,240,985
	経常経費寄附金収入	100,000
	受取利息配当金収入	2
	その他の収入	4,909,667
	事業活動収入計(1)	643,350,771
	支出	
	人件費支出	445,986,686
	事業費支出	57,190,058
事務費支出	59,524,246	
就労支援事業支出	39,939,808	
その他の支出	477,844	
事業活動支出計(2)	603,118,642	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	40,232,129	
施設整備等による収支	収入	
	固定資産売却収入	170,650
	施設整備等収入計(4)	170,650
	支出	
	固定資産取得支出	19,084,462
固定資産除却・廃棄支出	0	
ファイナンス・リース債務の返済支出	8,189,764	
施設整備等支出計(5)	27,274,226	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 27,103,576	
その他の活動による収支	収入	
	その他の活動による収入	23,490
	その他の活動収入計(7)	23,490
	支出	
	積立資産支出	6,291,500
その他の活動による支出	74,510	
その他活動支出計(8)	6,366,010	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 6,342,520	
予備費支出(10)	-	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	6,786,033	
前期末支払資金残高(12)	294,430,552	
当期末支払資金残高(11)+(12)	301,216,585	

● 事業活動計算書

(単位：円)

	勘定科目	当年度決算
サービス活動増減の部	収益	
	就労支援事業収益	40,100,117
	障害福祉サービス等事業収益	598,240,985
	経常経費寄附金収益	100,000
	その他の収益	729,000
	サービス活動収益計(1)	639,170,102
	費用	
	人件費	447,278,186
	事業費	57,190,058
	事務費	59,524,246
就労支援事業費用	40,290,377	
減価償却費	56,444,492	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 24,713,937	
サービス活動費用計(2)	636,013,422	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	3,156,680	
サービス活動外増減の部	収益	
	受取利息配当金収益	2
	その他のサービス活動外収益	4,180,667
	サービス活動外収益計(4)	4,180,669
	費用	
その他のサービス活動外費用	477,844	
サービス活動外費用計(5)	477,844	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,702,825	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	6,859,505	
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	0
	施設整備等寄附金収益	0
	固定資産売却益	170,648
	特別収益計(8)	170,648
費用		
固定資産売却損・処分損	21,691	
国庫補助金等特別積立金積立額	107,000	
その他の特別損失	0	
特別費用計(9)	128,691	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	41,957	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	6,901,462	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	503,557,875
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	510,459,337
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	0
	その他の積立金積立額(16)	5,000,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	505,459,337	